



7_宮守銀河住宅はめがね橋を一望できる場所に建設予定 8_本年度中にリニューアルされる宮守体育館



宮守の「まちなか」を再生中。

6月1日
オープン

SL銀河ステーション内に移転。(市立図書館分館)
宮守ゆうYOUソフト館

9・10_館内は木のぬくもりがあふれ、落ち着いた雰囲気。キッズコーナーや情報閲覧コーナーも設置 11_宮沢賢治が音楽の才能を認めた遠野の人・澤里武治氏に関する展示

The Library

ター、観光インフォメーションなどを設置。SL銀河を観光に来た観光客を宮守散策や遠野観光へ導くため、遠野の魅力アピールしています。また、カフェや産直なども併設。図書館コーナーは6月にオープンする予定で、地域住民の交流の場としても機能します。

総事業費は約1億5300万円、国の社会資本整備総合交付金などを活用しました。

市は現在、平成27年度から31年度までの5年計画で、宮守町のまちなか再生に取り組みんでいます。27年度には、mm1の商業施設を改修し、サンデーホームマートが入居。また、宮守駅周辺の公共スペースも整備しました。28年度には、子育て支援住宅「宮守銀河住宅」を整備するための用地を取得。本年度は、老朽化が進んでいる宮守体育館の改修にも取り組まれます。

SL銀河ステーションは、人と人、地域と地域を結ぶ「駅」。この「駅」を拠点にまちのにぎわいを波及させ、宮守町の元気を創造していきます。

mm1・道の駅みやもりに、新たな観光と交流の拠点が誕生。

SL銀河ステーション

訪れた人を宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』へと誘う新たな駅は、人と人、地域と地域を結ぶ、憩いの場となる。この春オープンした「SL銀河ステーション」を紹介します。



4月29日
オープン済

The Station of SL Galaxy



1_宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』をモチーフにした展示コーナー「銀河のプラットフォーム」 2_シンボリック存在の時時計。天井には無数の星座が描かれている 3_カフェ「銀河亭」の装いも新たに 4_ JR釜石線の歴史を知ることができる写真展示室 5_観光インフォメーション 6_壁面には宮沢賢治のシルエットが浮かび上がる



観

光と交流の新たな拠点「銀河ステーション」は、4月29日にオープンしました。宮守町のまちなか再生事業の一環で、ふれあい情報プラザ(道の駅みやもり)をリニューアル。隣接する商業施設(宮守地域活性化センター・mm1)と併せ、観光客や地域住民の憩いの場として生まれ変わりました。

銀河ステーションは、宮沢賢治の童話『銀河鉄道の夜』の世界を表現。幻想的な装飾が随所にちりばめられ、訪れた人を銀河鉄道の旅に誘います。

SL銀河について知ることができる展示コーナーやミニシアター、観光インフォメーション